

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	平成30年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 「第2回在宅医療・介護連携推進部会」
開催日時	平成31年3月14日（木） 午後2時から午後2時50分
開催場所	清須市役所北館3階 研修室
議題	1 開会 2 議事 （1）平成30年度在宅医療介護連携推進状況（資料1） （2）「きよすレインボーネット」の運用について（資料2） （3）国民健康保険被保険者レセプト分析結果報告（資料3） 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第 清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿「第2回在宅医療・介護連携推進部会」 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱 資料1 平成30年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について 資料2 「きよすレインボーネット」の運用について 資料3 国民健康保険被保険者レセプト分析
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	2人
出席委員	加藤（裕）委員、山口委員、神谷委員、加藤（武）委員、室田委員、 鹿山委員
欠席委員	加藤（高）委員
出席者 （オブザーバー）	西名古屋医師会在宅医療サポートセンター 中西コンダクター
出席者（市）	福田健康福祉部長
事務局	（清須市役所高齢福祉課） 森川健康福祉部次長兼高齢福祉課長、木全主幹、酒井課長補佐、 幸村係長、竹内主任 （清須市社会福祉協議会地域包括支援センター） 柴垣管理者
	1 開 会  ●事務局 ただいまから平成30年度清須市地域包括ケアシステム推進委員

会「第2回在宅医療・介護連携推進部会」を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、健康福祉部高齢福祉課長の森川です。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の傍聴者は2名お見えになります。

また、加藤（高）委員より欠席のご連絡をいただいております。そして、オブザーバーとして西名古屋医師会在宅医療サポートセンターの中西コンダクターにご出席いただいております。

それでは、次第に沿って議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第6条第4項の規定により、部会長が議長になることになっておりますので、加藤（裕）部会長に議長をお願いいたします。

#### ◎加藤（裕）部会長

それでは、ただ今から議事に入らせていただきますが、議事進行にあたり、本日の会議録署名委員に、神谷委員と加藤（武）委員を指名させていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

議事（1）から、事務局より説明をよろしくお願いいたします。

## 2 議事

（1）平成30年度在宅医療介護連携推進状況（資料1）

（2）「きよすレインボーネット」の運用について（資料2）

（3）国民健康保険被保険者レセプト分析結果報告（資料3）

#### ●事務局

〔資料に沿って説明〕

資料1 平成30年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について

#### ◎加藤（裕）部会長

ただ今の説明に対して、ご質問やご意見はありませんか。

[特になし]

#### ●事務局

〔資料に沿って説明〕

資料2 「きよすレインボーネット」の運用について

#### ◎加藤（裕）部会長

ただ今の説明に対して、ご質問やご意見はありませんか。

[特になし]

●事務局

[資料に沿って説明]

資料3 国民健康保険被保険者レセプト分析

◎加藤（裕） 部会長

清須市においては名古屋市への依存が大きく、今年度からは医療圏も名古屋医療圏と同じとなっております。

ただ今の説明に対して、ご質問やご意見はありませんか。

○加藤（武） 委員

急性期の場合は名鉄病院・名古屋医療センター・名古屋第一赤十字病院に入院するケースが多く、リハビリで五条川リハビリテーション病院に入院し在宅に戻る場合でも、かかりつけ医をその後どこにするか、という話になると結果的に入院した総合病院となることが多いと思われま。

ケアマネジャーとして連携が取りにくい点に関しましては、今までの関係性もありますし、ソーシャルワーカーもいますので各病院とうまく連携できていると感じております。

また、地域包括支援センターの多職種連携の集まりに管外の病院の方も参加しておりますので、あまり難しさは感じておりません。

◎加藤（裕） 部会長

レインボーネットの薬剤師の登録者数がやや少ないように感じますがいかがですか。

○山口委員

人数が少なく、レインボーネットの活用はまだ手が回っていないということもありますが、電話した方が早く解決出来てしまうということもあります。医師とはコンタクトを取る事が多いのですが、介護職とは特別に必要性がある場合を除き機会も少ないのが現状です。

○鹿山委員

薬剤師とコンタクトを取る時は、確かにレインボーネットではなく電話になっている部分も多いです。

○山口委員

かかりつけ医を地域の医師にしようと管内で連携しておりますが、やはり総合病院にかかっている方が多いようです。

◎加藤（裕） 部会長

地元の医療機関にかかってもらえるよう頑張っていきたいと思えます。

○室田委員

総合病院でも退院支援に力を入れており、訪問看護が浸透する前は指示書をもらうのも大変でしたが、今は医師の認識も変わり連携はとりやすい環境になっておりますので、問題はあまり感じておりません。

先程お話が少しありましたが、薬のことで薬剤師ではなく、直接医師に問い合わせることもあり、例えば多職種連携のアンケート結果にあったのですが、何をやっているかわかりづらい、連携出来ない職種として薬剤師が上がるのは、必ず存在しているが目に見えないという部分もあるのかもしれない。

◎加藤（裕） 部会長

初診で紹介状が無い安定した在来患者などに対し、費用を高くするなど急性期医療に特化していく病院もありますが、逆に患者が病院から出されることが多くなったと感じることはありますか。

○室田委員

直接、入退院等の調整をすることはないのであまりよくわかりませんが、レインボーネットの利用に関して、端末で患者の情報を見られる環境にない場合や、連絡しても何日も気づいてもらえないこともありますので、患者登録数は増えないのはその辺りが原因かなと思います。プロジェクトも盛んになり、ペーパーレス化も進んでおりますが、患者登録者数が増えると一段と活用されるようになると思います。また、連携が取れていないかという、他の手段を使っていたりもするので別にそんなことはないと思います。

○加藤（武） 委員

先日も医師とケアマネの連絡様式が掲載されておりましたが、そうしたことを続けていくことも活性化に繋がっていくと思います。

●中西コンダクター

北名古屋市のケアマネジャーから医師とケアマネジャーの連絡様式があったら便利だという話がありまして西名古屋医師会の方で作

成しました。

○室田委員

FAXよりも個人情報を考慮すると、やはりレインボーネットでやり取りした方が良いものなのでしょうか。

◎加藤（裕） 部会長

FAX番号が登録してあるなど間違いがない場合は良いと思いますが、例えば同じ内容を数人でシェアしたい場合はレインボーネットが有効な手段となります。やや手間がかかり、広がっていかない部分も実態としてありますが、スマホで登録している方は少ないのでしょうか。

○室田委員

スタッフにしてみると時間外にメールが来たりすることに抵抗がある方もいるみたいです。

◎加藤（裕） 部会長

今年度、在宅医療サポートセンターは増井コンダクターから中西コンダクターに変更しておりますが、在宅医療サポートセンターの今年度実績や来年度の方向性など説明をお願いできますか。

●中西コンダクター

[資料に沿って説明]

資料1 平成30年度在宅医療介護連携推進状況について  
「項目」欄のア～クに順じて説明

○鹿山委員

「キ 地域住民への普及・啓発」について、チラシの配布先はどこですか。

●中西コンダクター

「在宅医療サポートセンターだより」につきましては、行政、包括、医療機関に配布しております。

○鹿山委員

「オ 在宅医療・介護関係者の情報連携に関する相談支援」について、具体的にどのような相談が寄せられますか。

●中西コンダクター

病院の連携室から自宅付近の薬剤師の情報や訪問看護ステーションのサービス提供内容など多岐に渡ります。包括支援センターとも連携して進めております。

○加藤（武）委員

法改正により、ケアプランを主治医に提供することになっていると思いますが、レインボーネットでこれを出来ないかと思うのですがいかがでしょうか。

◎加藤（裕）部会長

現状殆どFAXでやりとりしております。原案に対して賛成かどうかなどの意見を問われる内容で、レインボーネットを活用すると変更事項の掲載や内容の確認に有効だと考えられますし、報告し合うことでより良いケアプランを作っていけるのではないかと考えます。

○加藤（武）委員

軽微な変更についてもプランを更新していく必要がありますが、主治医にそれをお伝えすべきか否か、という点でケアマネジャーによって考え方も異なると思いますので、保険者も含め話し合い、ケアマ。会として今後基準を示していければと考えますが、いかがでしょうか。

●事務局

実体を把握できていない部分もありますので、ケースを通して進めていかなければならないと思っています。

◎加藤（裕）部会長

FAXは正直変更部分がわかりにくい部分もあります。ケアマネジャーに積極的に使用してもらうことでさらに普及していくのではないかと考えております。

○神谷委員

レセプト分析については、国保担当課と高齢福祉課が連携してデータ抽出を行ったと思います。今後も他課連携をしながら進めていただければと思いますし、資料1「在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討」の部分について、政策形成を行うためのデータ抽出ですので、今回管外の医療機関に受診している方が多いことが判明しましたので、そうした機関と連携しつつ、保健所としましても、政策形成が進むように先進事例の紹介などの支援又は力添えをしていければと思っています。

	<p>◎加藤（裕） 部会長</p> <p>2市1町で西名古屋医師会は行っておりますが、名岐バイパスを境に西と東で医療機関が異なるのではかと考えております。つまり、北名古屋と清須市ではデータは異なりますので、それぞれの市町で把握し検証していくことが大事だと思います。</p> <p>3 その他</p> <p>●事務局</p> <p>この地域ケア推進委員会の会議ですが、今年3月で委員の選任期間が終了となります。2年間ありがとうございました。次年度になりましたら委員の選任を行い、再度皆様をお願いすることもあるかと存じますが、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">午後2時50分</p>
会議の結果	会議の経過に示したとおり